

質問

山県の繁殖センターの活用は

町長

新規就農者の研修施設にも



北村 千寿 議員

質問 以前畜産振興

について質問した際、
①空き牛舎の活用による新規就農者の初期投資の軽減、②農業公社による粗飼料生産と供給で増頭を図ると答弁があった。進捗状況は。

質問 空き牛舎とな

っている山県の繁殖センターの今後の活用は。

町長 アパート牛舎

としての要望がある。新規就農者の研修施設としての利用も有用で、雲南農振協で新たな担い手の確保に取り組む。

再質問 雲南管内で

複数の新規就農者がいるとは考え難い。応分の負担をいただき、広域で募集されてはどうか。

町長 大きな目で畜

産振興を考えるのであれば検討すべきと考える。少し整理し相談する。

再質問 県外からの

雌牛の購入は、町内の雌牛改良と優良牛生産のためと聞く。目的は達成されたのか、あるいは目的どおり進んでいるのか。

農業振興課長 購入

した雌牛から生産した子牛の町内保留が少なく、効果があつたかはまだ分からない。しかし、購入した雌牛から生まれた子牛の枝肉状況を見て受精卵移植等行っていきたい。

意見 和牛の最終的

評価は枝肉、購入した雌牛から生まれた子牛の枝肉成績で判断するのは非効率。県内の枝肉実績のある雌牛の利用等を行い、畜産農家にとって有益な事業を行ってもらいたい。

その他の質問

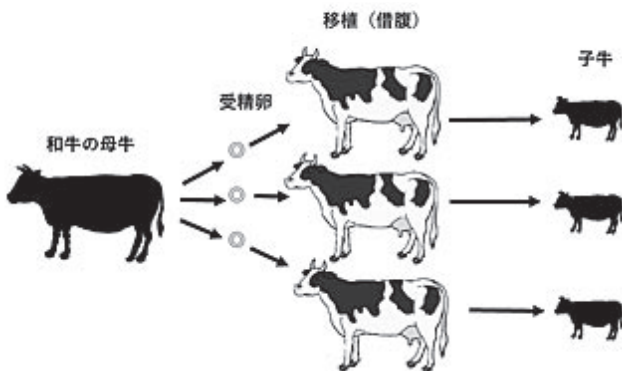
たたら体験学習施設を活用した観光振興



空き牛舎となった山県の繁殖センター

農業振興課長
令和元年の
購入平均価格
は105万5
千円、平均価
格は65万3千
円、令和2年
の購入平均価

質問 令和元
年から3年ま
で、農業公社
が県外から購
入した雌牛11
頭の平均価格
とその時の市
場平均は。



乳牛を借り腹とする和牛の生産（受精卵移植）